

食と農・環境パネル世話人のみなさんからのメッセージ

○幸松孝太郎さんより

団塊の世代のみなさんへ
 強いものだけが残る社会はどうでしたか？いまの毎日輝いていますか。
 もう一度日本の良さを思い出して、「自己実現」というアメリカ的価値でなく
 「充足感」という日本的な生き方、すなわち”無事のありがたさ”を内山 節さん
 と一緒に話し合いませんか!?

○杉浦玄光さんより

「未来についての創造力」を読んでみました。要旨はおおよそ次のようではないかと思えます。
 「これからの時代は、自然と人間の生命の結びあいや人間と人間の結びあいが実感でき、持続的な地域社会、
 産業、労働、介護……を構想していかなければならない。そのヒントは、農山漁村や農業にある。」
 農業・農村(林、水も含む)の振興に関わってきた私には「強〜い味方(見方)」です。

○浦北豊さんより

先日もらった資料も全部読みましたし、内山先生の本も1冊読みましたよ。今、2冊目読んでいます。
 読んだのは、「怯えの時代」で、今読んでいるのは「貨幣の思想史」です。
 先生の本を読んで、個人文化が流行る中で、人はつながりを求めていることを実感しました。経済が歪み
 暮らしが歪みつつあると感じるこの頃だけど、私たち人間は、それでもつながりを求めて生きてゆくん
 だなあと、それが人間の本性だと感じる事ができたことはうれしかったです。
 食・農・環境に関わる人と経済のつながりみたいな話も入れていただけると嬉しいです。

○有本信昭さんより

「協働の労働と連帯の哲学」(「協働の発見」206号、09年9月)を読んでみましたが、大変
 難しい話です。
 近現代の「資本主義」「市民社会」「国民国家」の三者とも、「人間を個人に置くことによ
 って成り立ち」、「個人以外の論理・仕組みを等閑視してきた」というご主張に関心があり
 ます。協同組合も、「自立した個人」が「自発的に構成する」事業体と言われていますが、
 同じ誤謬を抱えているのでしょうか。ご講演を期待しております。

○池戸麻知子さん

<内山先生にお聞きしたいこと>

生協には班という小さな共同体がありますが、それが本当
 の意味の連帯の機能を果たしてないと思えます。助けあ
 っていけるよりどころとなる班になれば素晴らしいと思
 えますが、それは可能なことでしょうか？

<これがあわいのホレホレバンド>

加藤隆正・大島 博・有田 寛・丹下 靖
 ♪オリジナルの農や労働の歌を、お楽しみいただきます。



○井貝順子さんより

大昔 今 27歳になる息子が小学生のころ学校の社会の宿題で たぶん「昔の農業、今の農業の
 違いをとおじいちゃんおばあちゃんから聞いてくる」と言うテーマのものがあり、おばあちゃんに聞
 いてきたことを書いたノートを、一応親として目を通したわけです。その内容 目に焼きついて
 います。ものすごくへたくそな字で(関係ないけど腹が立つほど下手・・・)こんな風なものでした。

昔の農作業は 機械がないので、みんな手でやった。親戚や近所がたすけあってやった。
 いとこたちやおじさんたちとやる農作業は楽しかった。たくさんの人でやる農作業は体は
 えらかったけど、ころは えらくなかった。今は便利な機械ができたので、体はえらくなかった。
 体はえらいけど、昔の方が楽しかった。

(重大な注: えらいとは 偉大と言う意味ではなく体が疲労すると言う意味の東濃弁です。)

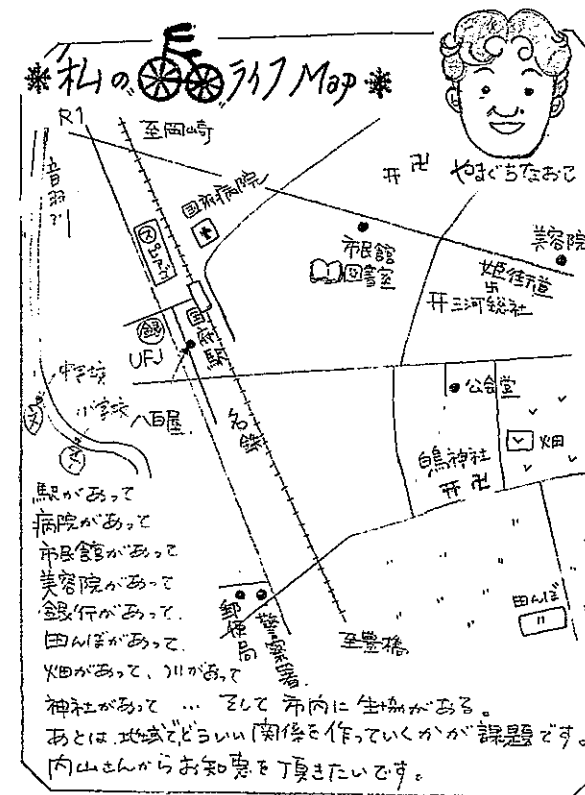
「からだはえらかったけれど心はえらくなかった」そのわけが、内山さんの本を読むとしみじみと心に伝わ
 ってきます。

「心がえらくなかったくらしのありよう」について考えるきっかけにこの講演会がなるといいなと思います。

○田中義二さんより

ヒトは一人では人になれないと、医療・福祉・食・文化等々さまざまな(分野でのつながり)をつくってきま
 した。できていないのがそれらを横につなぐ(地域でのつながり)とそれを様式にまで進める(生活文化)で
 はないでしょうか。そんなことが開けて、話し合えたらいいな、と思います。

○山口直子さんより



○野村真弘さんより

「協働の労働と連帯の哲学」を読みましたが、
 資本主義、市民社会、国民国家のそれぞれを仕
 組みとして同列に論じているところ、マルクス
 についての理解、労働や資本主義のとらえ方で、
 いくつか同意できないところもありますが、日
 本社会の価値観、「お互いさま」のつながりな
 ど、現在の価値観について、つながりづくりと
 合わせて、見直していくことの必要性が提起さ
 れており、その部分には、共感するものです。

○磯村隆樹さんより

「人間らしく」「一人ひとりを大切に」「一
 人は万人のために、万人は一人のために」「共
 に生き、共にくらす地域社会づくり」・・・
 私たちのくらし方、生き方を振り返り、ちょ
 つとも見直すことができたら・・・。

今日の内山さんのお話は、ちょっと立ち止ま
 り肩の力を抜いて、視野を広げ、見方の角度を
 変える機会になると思います。元気をもらい、
 リフレッシュして帰れる企画です。ぜひ、誘い
 あっってお越しください。

○いま先生の「清浄なる精神」を読ん
 でいます。日本人が日本の気候風土に
 あわせて培ってきた思いや価値観、く
 らし方など先人の知恵に学び、これか
 らのくらしや地域のことを考えたいと
 思っています。(事務局:伊藤小友美)



○森一代さんより

先生の記事を読んで、人と人がつながり、地
 域とつながるために何をすべきか、気付かせて
 いただきました。